

学ぶ、鍛える、集う、伝える



整った環境で人気のフレンドリー図書館
 図書館ボランティアのみなさんに協力いただき、幼児から高齢者まで気軽に利用できる図書館を目指した結果、町外からの人気も高い図書館となりました。今後もさらに図書の補充、環境整備に努め、町民の生涯学習を支援していきます。



親子のふれ愛絵本事業
 「親子のふれ愛絵本事業」では10ヵ月児健診対象児に絵本をプレゼントし、絵本を通した親子のふれあいを促進しています。

読みトモみよたっ子(セカンドブック事業)
 読書習慣を身に付けてもらうため、新1年生に図書をプレゼントしています。

おはなし会
 毎月行われるおはなし会。図書館ボランティアの方が絵本の読み聞かせをしてくれます。

おはなし会

浅間山の風土が生んだ暮らしと風習を伝える

先人たちが築き伝えてきた数多くの有形無形の文化財や伝統文化が現代まで受け継がれています。



道祖神まつり
 子どもたちの安全と幸福を祈願し、わら馬を引き回す伝統行事で、小田井、塩野地区で行われています。



どんど焼き
 小正月(1月15日)の前後に、正月のしめ縄、門松、書き初めを集め火を焚く行事が、各地区で行われます。手作りのまゆ玉を持ち寄り、この火で焼いて食べ、一年の健康を祈ります。



寒の水
 草越地区に伝わる伝統行事。寒さの厳しい大寒の夜(毎年1月20日)に行われ、水をかぶりながら、わらじで凍てつく道を走ります。平成元年、県無形民俗文化財の指定を受けました。



アンギン織りを着て火おこし

浅間縄文ミュージアム
 「エコールみよた」にある「浅間縄文ミュージアム」は、町内の川原田遺跡から出土した焼町土器と、縄文時代の住居や食べものなどを紹介しています。この施設の大きな特徴は、「縄文体験工房」。縄文時代の土器、まが玉を作ったり、原始時代の方法で火を起こすなど、さまざまな体験ができ、県外からも多くの来館者が訪れています。2階には、活火山浅間山の歴史や自然に関する展示がされています。



きなんしまつり
 総合文化展と芸能発表会が行われます。町内で活動するグループや個人が日頃の活動の成果を発表する場です。



しめ縄作り
 思いを込めて縛ったしめ縄は「福を呼び込む」と言われています。世代を超えての交流も楽しみのひとつです。



町民運動会
 毎年、10月に開催される町民運動会は、40回を超えています。笑い声と声援が、秋の空に響きます。

信州みよた クラインガルテン大星の杜・面替



自然にふれあい、農作業体験ができる滞在型市民農園が平成27年度に完成しました。農作業を通した都市住民との交流を創造し、地域の活性化を図ります。



十日夜(とうかんや)
 子どもたちが稲わらを束ね、わら鉄砲を作り、歌いながら地面を叩き、豊作を祝います。



真楽寺三重塔(長野県宝)
 1751年完成。高さ20.776メートル。県内に残る11の塔のひとつ。真楽寺は587年、浅間山の鎮護の祈願所として建立され、1145年現在の場所に移されたと言われています。古刹にふさわしいたずまいが広がっています。



中山道小田井宿「姫の宿」
 江戸時代の主要な交通路であった北国街道と中山道は、その名残を留め今もなお、生活道路として親しまれています。中山道の小田井宿は姫君が泊まることが多いことから別名「姫の宿」と呼ばれ、残された建物や史跡から当時をしのぶことができます。

スポーツ少年団

町内には9つのスポーツ少年団があり、活発な活動を行っています。



ミニバスケットボール



バレーボール



硬式テニス



少年軟式野球(南)



少年軟式野球(北)



サッカー



空手道



SAQ



ジュニアカーリング